

マンガの聖地としまの皆さん

これも学習マンガだ! 大人も学べるマンガ入門

第4回

「これも学習マンガだ!」を主催する一般社団法人マンガナイトの連載です。



ジャンル：文学

『よちよち文藝部』

著者：久世番子
出版社：文藝春秋



企画監修：山内康裕
(マンガナイト代表・「これも学習マンガだ!」事務局長)
構成：松尾奈々絵 (マンガナイト理事)

夏目漱石や芥川龍之介、川端康成、中原中也、宮沢賢治など、教科書に載っていて誰もが知っている文豪たち。「いつかじっくり読んで見よう」と思いつつ、そのままになってしまっている作品はありませんか? そんな作品への入門書としておすすめしたいのが、久世番子さんの『よちよち文藝部』です。

て、作家や作品、登場人物などに愛のあるツツコミを入れながら、その魅力を教えてくれるコミックエッセイです。作中では、太宰に憧れ、太宰のように生きてヒモになった青年など濃すぎる太宰ファンが集まる桜桃忌のお話や、娘が嫁に行ってしまうた夢を見て寂しく感じたという内容を手紙にしたためた川端康成、主人公っぽくないと言われる森鷗外の『舞姫』主人公の太田豊太郎など、作家や作品のことを知らなくても楽しめるエピソードが

詰まっています。とは言っても、作者や作品のことを知ればさらに面白いのが本作の魅力。中でもすぐにネタ元の作品を確認したいと思っただのは、芥川龍之介の作品です。久世さんは作中で芥川作品の印象として「晩年の作品に『三点リーダー(……)』が多い」と指摘します。そしてこの「……」が彼の最後に遺した「ぼんやりした不安」という言葉を表していたのではないかと。本作を読んで「そうだったのか!」と芥川の作品を確認した読者もいることでしょう。国語の授業では「正しい読み方」が求められ、小説にも読解力が試されることがほとんどで、そこから国語が苦手になってしまったという方も少なくないでしょう。作家のとんでもないエピソードや登場人物にツツコミを入れたりしながら、いろいろな解釈や角度から小説を読む面白さを改めて教えてくれる作品です。

これも学習マンガだ!

Manga Edutainment 世界発見プロジェクト

Supported by 日本 THE NIPPON 財団 FOUNDATION

「これも学習マンガだ!」は、新しい世界を発見できるマンガや学びにつながるマンガを選出・発表し、国内外の読者に作品を届ける事業です。マンガの持つ「楽しさ」「分かりやすさ」「共感性」に着目し、社会をより良いものにしていきます。

マンガナイト

<http://gakushumanga.jp/>

